

虹色くじら～save kids kochi～

「東日本大震災による移住者の生活向上のためのアンケート」

2013年5月14日 資料版



調査内容

東日本大震災による高知県への移住者の生活向上のための意向調査

調査対象

虹色くじらの会員等、震災後に高知県に移住・短期保養している者

調査方法

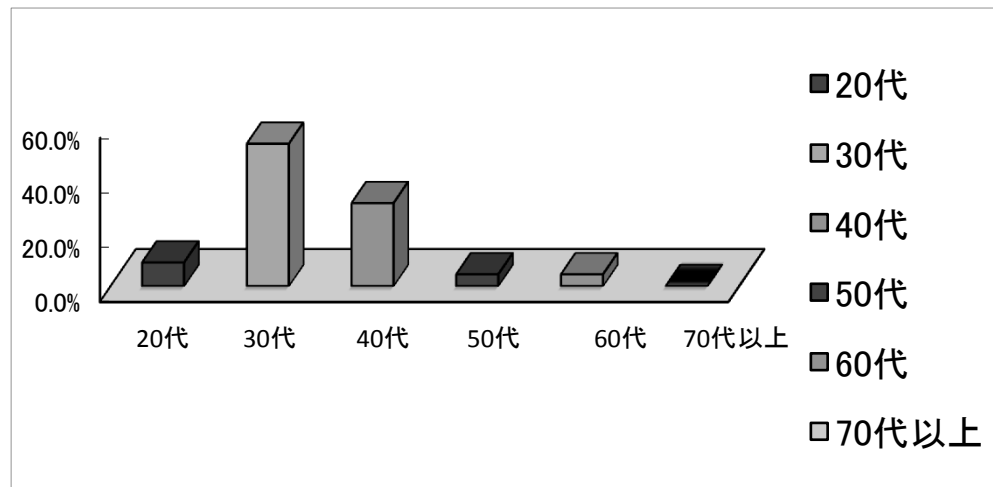
インターネットによる無記名アンケートを行う 23名が回答

調査期間

2013年2月27日(水)～2013年3月8日(金)

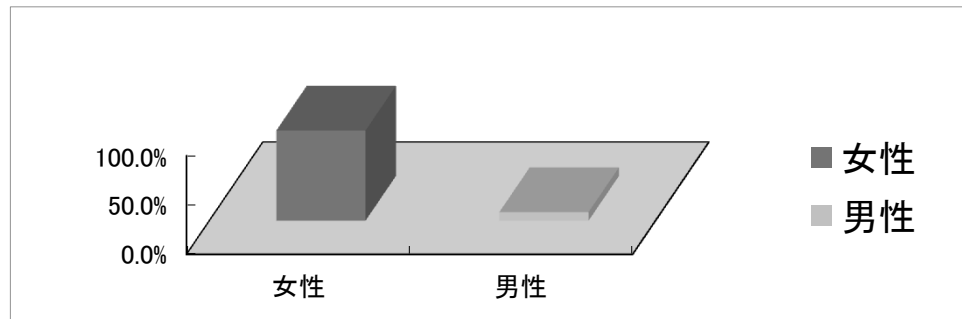
■問1 ご年齢は

項目	%	人
20代	8.7%	2
30代	52.2%	12
40代	30.4%	7
50代	4.3%	1
60代	4.3%	1
70代以上	0.0%	0
計	100.0%	23



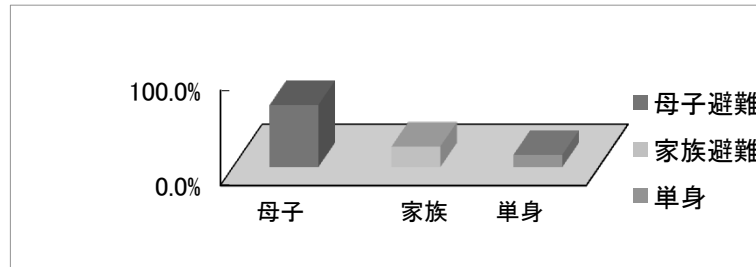
■問2 性別は

項目	%	人
女性	91.3%	21
男性	8.7%	2
計	100.0%	23



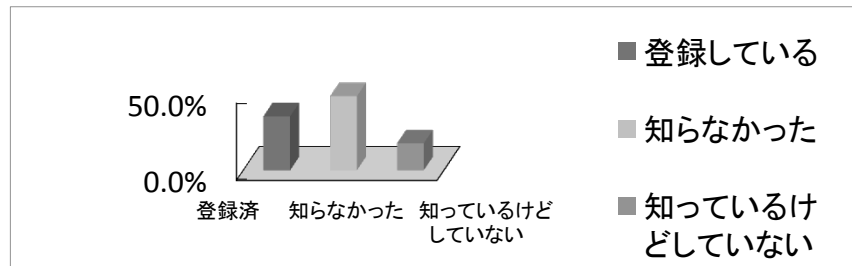
■問3 どのような避難・移住ですか？

項目	%	人
母子	65.2%	15
家族	21.7%	5
単身	13.0%	3
計	100.0%	23



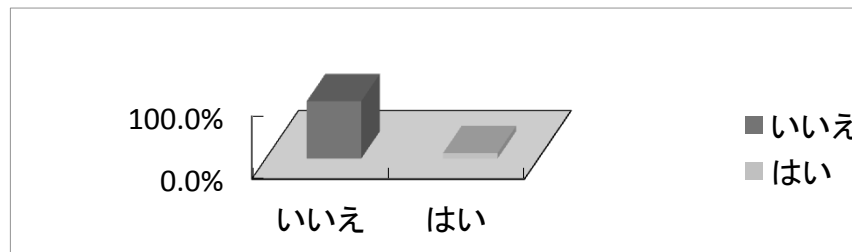
■問4 避難者登録をしていますか？

項目	%	人
登録済	34.8%	8
知らなかった	47.8%	11
知っているけどしていない	17.4%	4
計	100.0%	23



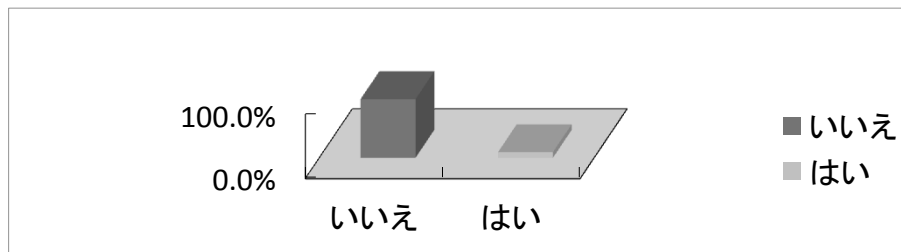
■問5 住宅支援を受けていますか？

項目	%	人
いいえ	91.3%	21
はい	8.7%	2
計	100.0%	23



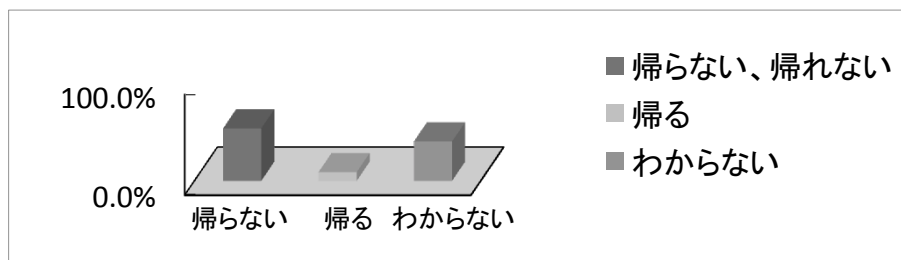
■問6 公営住宅に入居していますか？

項目	%	人
いいえ	87.0%	20
はい	13.0%	3
計	100.0%	23



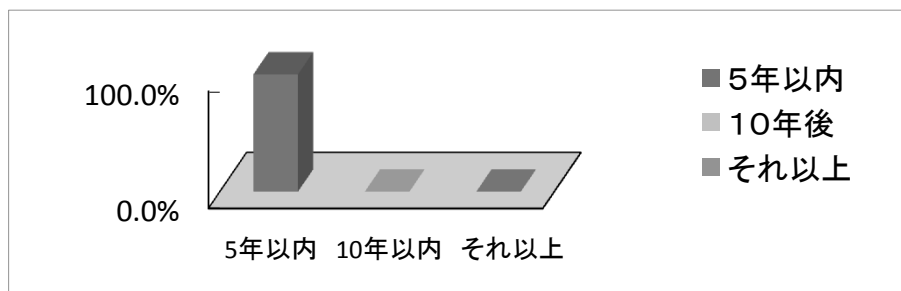
■問7 もとの居住地へ帰りますか？

項目	%	人
帰らない、帰れない	52.2%	12
帰る	8.7%	2
わからない	39.1%	9
計	100.0%	23



■問8 問7で帰ると答えた方へ、何年後に帰りますか？

項目	%	人
5年以内	100.0%	2
10年後	0.0%	0
それ以上	0.0%	0
計	100.0%	2



■問9から問11は、自由記述回答関連。

問9 今の心配事は？(複数回答可)

※関心の高い順に配列 (有効回答者23名にて算出)

項目	%	人
①放射能	82.6%	19
③子どもの健康と心の問題	73.9%	17
②生活費	60.9%	14
④仕事	56.5%	13
⑤今後の住まい	47.8%	11
⑥家族間の意見の相違	39.1%	9
⑧地元とのつきあい	30.4%	7
⑩その他	13.0%	3
⑦東電との交渉	8.7%	2
⑨離婚	4.3%	1
⑪特になし	0.0%	0
計	100.0%	96

問9の⑩その他の自由記述

- ・伊方原発
- ・食の安全
- ・保育園の弁当受け入れ

■問10 いま一番困っていることはなんですか(自由記述回答)?

有効回答者19名

●自由記述

- この地で永続的に生活できるための仕事を得られていないこと。
- なかなか安定した職業につけない。経済的不安。
- 自分の仕事を探したいが、仕事が見つかりにくい。
- 主人も高知に移住を考えていますが仕事を移住先で探しています。私自身も求職しています。何かサポートが県などであれば嬉しいです。
- 夫婦とも一年の臨時職員をして、4月からの夫の仕事が決まらない。収入が不安定。
- 子どもの環境では、給食に出る魚、練り製品が心配。仕事については、現在は緊急雇用枠なので、その先が不安。
- 母子生活での精神的な余裕のなさから、子どもを叱ってばかりになってしまう。
- 保育園が弁当を受け入れてくれない。高知に身寄りがないので、子供と一緒にいる時間が少し苦痛
- 乳幼児2人を一人で育てているので、時々とても大変な時があること。自分が風邪などの病気になった時など、子どもの面倒を見る人や家事をする人がいないので困る。
- 先が見えないので、なかなか生活プランがたてられない。
- この先どうするのか、具体的に決まっていないこと。
- 本当は家族移住したかったが、父親が移住先で再仕事できなかつたら困るため母子移住にせざるをえなかった。汚染された土地に一人で残っている父親が心配。
- 主人の理解が得られないこと。
- 行政の支援体制が確立しておらず、支援対象が福島からの被災者に特化していること。
- 福島原発事故をきっかけに地元高知への移住を希望しているが、家族間の放射能の危険性に対する認識の違い、価値観の違いによって話し合いが進まないこと。小さい子どもがいるので事故以降、短期移住を繰り返しているが経済的にも厳しくなってきた。
- いま、市の有機農園の一面をお借りして野菜の栽培を行っています。慣行農法ではなく本格的に自分で有機・自然栽培をはじめようと思ったとき、土地を利用したいときの融通の利かなさ。放棄されている土地を、使いたい人がすぐに使えるようなシステムがあれば良いなと思います。
- 今後の経済面・子供が学校になじめるか・元の住まいに戻れるのか・高知の食材の汚染。
- 地球の汚染が続いていること。
- 今後の住まいについて。

■問11 県や市町村に期待すること、要望することはありますか(自由記述回答)？

有効回答者21名

●自由記述

- 2年間の住宅支援がそろそろ切れるので困っている。単身で身寄りもないため、住宅を借りるのにも保証人がいない。
- 自治体が所有する住宅施設で使われていないものを、移住希望者向けに開放して欲しいです。住まいの支援が受けられるとなると、汚染地から移住したいという人はこれからも大勢いるだろうと思います。
- 住宅支援をしてほしいです。福島以外でも関東もホットスポットが存在しています。自主避難の人で関東で被災証明がない人にも住宅支援をお願いしたいです。
- 空き家情報を積極的に出していただけたら助かります。
- 小学校給食からの内部被ばくが無いように、対応してもらいたい。
- 雇用の充実を！これができないと母子移住のご主人にも「こっちに来てはどうですか？」とは言えない。
- 住宅、仕事支援をお願いしたい。また、安定するまでの現金の援助もしくはハードルの低い融資。
- 子供の給食の食品の放射能検査をして、情報を開示してほしい。また、ローンを払いながらの二重生活なので、経済的にとても苦しい。保育料金は年収が夫婦合算のためとても払えないので、保育料の補助や減額をしてほしい。
- 保育園の保育料が、夫の収入から算定されるので、現在の二重生活からは費用を捻出できず入園させることができない。二重生活をしていることをふまえて、特別措置をとっていただきたい。別世帯と同様に考えていただきたい。
- 放課後児童クラブ(学童保育)についての要望。
25年度に入り午後六時までの預かりになった事は、利用される多くのご父兄様方が待ち望んでおられた事と思います。
残念ながら三年生までの利用なので家の場合は今年度で終了となってしまいます。
そこで、二つ要望がありますが、①小学校全学年が利用可能としてほしい。②毎週土曜に開設してほしい(現在、第三土曜のみ)。毎週土曜の開設を望む、働くお母さんが周りで多いです。
- 避難者を理解し学校のことなど融通がきかせてもらえることはお願いしたいです。
- お弁当の自由化を広めてほしい、そして弁当、給食のこどもたちが差別化されることのないような体制を早い段階で考えていってほしいです。
- 現況のサポートをよく把握してないのですが、住宅費用などの減額制度などがあれば嬉しいです。
- 借り上げ住宅の補助などしていただけると二重生活しているので助かります。
- 移住避難者への、住居、仕事の斡旋。
- 首都圏からの単身者が来やすいようなドミトリーなどがあれば、高知へ来やすくなり、そこで高知を気に入れば、移住への可能性も増えるのではないかと。高知の気風は、アーティストなどに好まれると思う。首都圏から面白い人たちが来れば、高知の盛り上がりに一役買ってくれる可能性もあるのでは。
- 給食の安全対策。地産地消を可能な限り進めてほしい。そうすることで、地元の農家さんへの支援にもなるし、放射能不安を抱える移住を考える首都圏を含む汚染地の親たちへのアピールにもなり、高知への移住を考える人が増えるかもしれませんね。
- 移住したい県No.1を目指されると聞いて頼もしいです。まだ移住に向けて家族間での話し合いの最中なので、今後も引き続き首都圏で移住説明会を開催してほしい。放射能汚染の影響を心配して移住を検討しているので、給食の地産地消を積極的に進めてほしい。伊方原発再稼働反対。安心できる高知を守ってほしい。
- 地産地消に力を入れた給食のメニュー作り。放射能対策に関する勉強会、講演会を行なう。*御用学者ではない方に話していただきたいと思う。
- せっかく避難したのに給食のメニューの安全性が心配です。食材の放射能検査のさらなる充実や、産地をお手紙で保護者に配布するなど、何らかの取り組みをしてほしい。機関を決めるのではなく、継続して行ってほしい。また、市民測定所を設置して、気軽に食材を持ち込んで個人が検査できるようにしてほしい。
- 移住支援、保養支援、健康フォローアップ体制を、高知県下で早急に確立してほしい。

■問12 甲状腺検査などの被曝に関する検査や医療体制に要望することはありますか(自由記述回答)？

有効回答者15名

●自由記述

- 全国の子供たちが定期的な検査を受けられるようにしてほしい。
- 無料検査。
- 定期的な健診を無料で受けたいです。
- 甲状腺検査はもとより、被曝の検査を子供の定期検診にいらしてほしい。関東、東北の子供たちは半年に一度の甲状腺検査を無料で行えるようにしてほしい。
- 3歳以上であっても無料で甲状腺検査などの被曝検査をしてほしいです。
- 甲状腺・血液・尿検査を継続して受けられるようにしてほしい。
- 避難できない方には、無料できちんと検査をしていただきたい。
- 定期的は無償、又は格安で受けられると有り難いです。高知市ですが、小児医療保障制度がもうすこし、長いと助かります。
- 福島に限らず、東日本からの避難者の甲状腺含む検査のバックアップ体制を整えてほしい。
- 被曝に関する相談や避難生活のメンタルヘルスの相談ができる窓口があれば嬉しいです。
- 健康フォローアップ体制を、高知県下で早急に確立すること
- 既存の医療機関の検査だけではなく、免疫療法やこれまでの被爆者の体験に基づく抗放射能となる食品の勉強会などが行われると良いなと思います。
- どんどん検査して、データを集めて欲しい。
- データを他に漏らさないように管理しながらも、蓄積していくこと。
- この病院なら被曝に関する検査、相談ができるという情報がほしい。今住んでいる関東では被曝を心配していても口に出せない雰囲気がある。福島より離れているから安心だという認識の人が多く、医療機関で被曝に関する相談をただけでバカにされたり叱られたりしたお母さんの話も聞いた。医療機関ならどこも同じ、ではなく被曝に関する検査自体に否定的なところもあるようだ。高知で実際に検査をしたいという人はまだ少ないかもしれないが、行政や医療機関側から検査しますと意思表示があれば、被曝の問題への関心も高まり、検査のハードルはもっと下がると思う。